広報かのや
Kanoya
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS
3
March
2017
No.269

特集

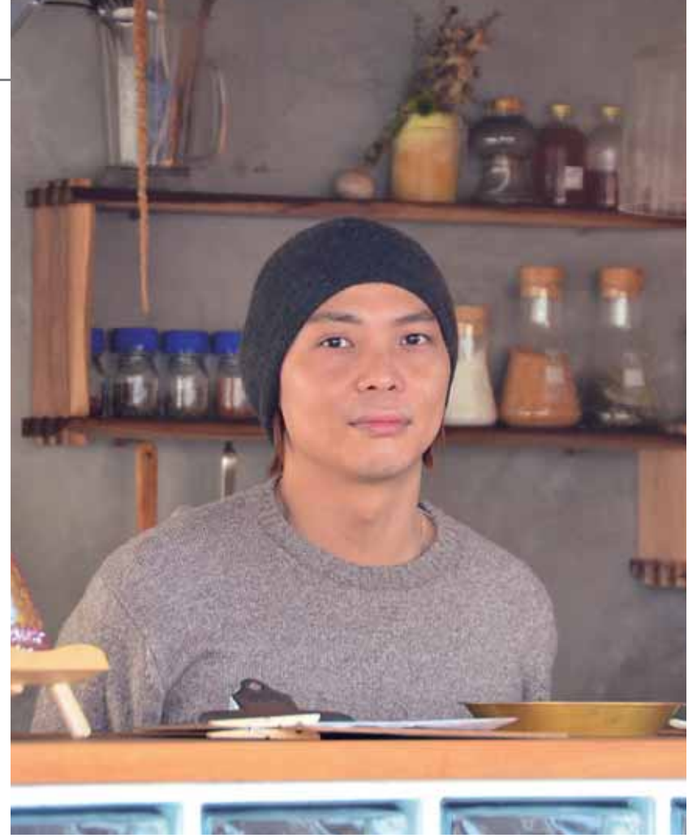
大隅線の記憶を辿る

No.28

明日への扉

心地良い空間をもっと増やしたい！

蜂谷（はちや） 拓広（たくひろ） さん



北田・大手町付近は生まれ育った場所でもあり、遊び場でもあった場所。そこに建つビル内の駐車場管理人室を改造し、自らデザイン・内装してオープンさせた「Konomichi」には、蜂谷さんの想いがたくさん詰まっている。

昭和55年鹿屋市生まれ。鹿屋高校卒業後、福岡や東京で音楽活動。平成23年春に帰郷・就職を経て、平成26年１月に両親が営む北田町の定食屋に入り、平成27年９月同店をリニューアル。平成28年10月西大手町の瀬口ビル１階にサンドウィッチ店「Konomichi（コノミチ）」を開店。（36歳）

長く音楽活動をしたのち、30歳で故郷・鹿屋に帰ってきました。しばらく市内の障がい者施設で働いていたのですが、北田町で定食屋を営む両親が高齢だったこともあり、仕事を辞めて定食屋を継ぐことを決心。平成26年1月から両親の店で働くことになりました。

店は自宅を開放して作った店舗。高齢のため、一時は店を手放そうかという話にもなりましたが、ここは市外出身の父が鹿屋の地で構えた唯一の家。そのためにも、「この家だけは残したい」と思ったのです。

当初、料理については両親の指導を仰いでいましたが、都会で音楽活動をやっていた頃の飲食店でのアルバイトや長い自炊生活の経験が生き、スムーズに覚えることができました。そして、お客様にもっと来ていただきたいと、平成27年9月には、この定食屋をカフェとしてリニューアルオープンさせました。

また、店に入って間もなく弁当の配達にも挑戦しましたが、薄利多売なうえに機材も人も足りなかったため、長くは続けられませんでした。それでも、「届け先に自分の顔を見てもらうことは本当に大事だ」と改めて感じることができました。ある介護施設に配達で伺った際、介護の職に就いていた経験から、入所者に嚥下（えんげ）障がい（飲み込む力が弱い）のある方がいらっしゃるのが分かり、次回から弁当を刻み食にして持って行ったのです。すると、それからほどなくして、その施設から「毎日３食、弁当を作ってほしい」と依頼されました。これがきっかけで、今では配達ではなく、介護施設内で給食を作る事業もやるようになりました。これもまた経験が生きました。

カフェと２つの給食事業という飲食業の下地ができたこともあり、平成28年10月、瀬口ビルの駐車場管理人室を改造して、サンドウィッチ店をオープンさせました。ビルは長く廃墟となっていましたが、この部屋は幼少期から憧れだった場所。このサイズ感も好きですし、古くなった物、劣化した物に魅力を感じるのです。

これは今で言う「リノベーション」ですが、「まちづくり」と声高に言うつもりはありません。単純に「こういう空間ができたら楽しいし、人が来てくれるかも」という発想だけです。街を変えるのは簡単ではありません。自分のやりたいことをして、それが受け入れられて初めて街にお金が落ち、それが結果的に街のためになるのだと思います。この駐車場管理人室のように、多くの人の思い出や想いが詰まった、昔と変わらない心地の良い空間を、新たな形で世に送り出すようなことが、今後も広がってほしいなと思っています。

ひと・まち・産業が躍動する「健康・交流都市 かのや」

広報かのや Kanoya

KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

3 March 2017 No.269

目次 contents

03 明日への扉
蜂谷 拓広 さん

04 特集
大隅線の記憶を辿る

10 街フォトスクラップ

14 住み慣れた地域で 自分らしく

16 市職員給与などのお知らせ

18 情報掲示板

23 まちの保健室

24 市民のひろば

25 マチロク、
地域おこし協力隊かのや活動レポート

26 スポットライト

27 大人の社会見学
株式会社 西ノ原商事

今月のカバー

吾平鉄道記念公園

表紙は、桜の季節に撮影した吾平鉄道記念公園。国鉄吾平駅跡に整備した公園内には、列車や線路、ホームなどがそのまま残されており、在りし日の鉄道の姿を現在に伝えています。

統計情報

平成29年２月１日現在（前月比）

- 人口／ 103,316人 （－ 27）
- 男性／ 49,416人 （＋ 3）
- 女性／ 53,900人 （－ 30）
- 世帯／ 45,227世帯 （－ 16）
- 面積／ 448.33㎢

市の花 ばら

春風

花つきの良さは抜群で、開花するにつれて、カップ咲きから平咲きに変化しながら株を覆うように咲く。ほとんどトゲがないため扱いやすく、強健な品種です。

鹿屋市広報

- 鹿屋市ホームページ
  http://www.e-kanoya.net/
- 鹿屋市公式 facebook
  https://www.facebook.com/Kanoya.City
- 鹿屋市ラジオ広報番組
  ＦＭかのや（77.2MHz）
  （月～金曜日、8:05～と16:05～）

Rena Theater

映画情報 映画 妖怪ウォッチ 空飛ぶクジラとダブル世界の大冒険だニャン！

「このままではダブルの世界が崩壊する!!」。主人公のケータ達は、アニメと実写の世界を行ったり来たりしながら、２つの世界を救うために、立ち上がる！アニメ「妖怪ウォッチ」の映画第３弾。

3/18（土）～4/7（金）

◎上映時間（97分）
①10時～ ②13時～ ③16時～ ④19時～

◎鑑賞料
一般／1,800円 大学生／1,500円
高校生以下／1,000円 60歳以上／1,000円

問 リナシティかのや ☎0994-35-1001

※上映期間・時間・鑑賞料は変更する場合があります。
※特別割引券は、１枚に付きお一人限りです。
また他の割引券との併用はできません。

特別割引券
映画 妖怪ウォッチ 空飛ぶクジラとダブル世界の大冒険だニャン！
割引券をお持ちの人は300円（高校生以下は200円）を割引します。
※60歳以上の人は割引対象外です。

大隅線廃止前日の昭和62年3月13日に行われたセレモニー

大隅線の記憶を辿る

今からちょうど30年前の昭和62年3月14日。志布志駅から鹿屋駅を通り、国分駅までを結んでいた鉄道「大隅線」が廃止されました。今号では市民の足として生活を支え見守り続けた、大隅線の歴史を振り返り、今も残る記憶をたどります。

悲願の鉄道開通

鹿屋の鉄道の歴史は、大隅線の前身となる私鉄「南隅軽便鉄道」が大正4年に高須～鹿屋間で開業したことに始まります。

「南隅軽便鉄道」は、鹿屋から鹿児島市行きの船が出ていた古江までを鉄道で結び、交通の便の向上を図ろうと設立されたもので、軽便鉄道とは、国鉄に比べて線路の幅が狭く、小型の機関車や車両を使う、簡易な構造の鉄道のことです。鹿屋のそれまでの主な移動手段は徒歩や人力車、↙馬車など前近代的なもので、小型とはいえ鉄道の開通はまさに悲願でした。

鉄道開通を伝える当時の新聞記事

「南隅軽便鉄道」は開業の翌年に社名を「大隅鉄道」に改め、大正10年までに鹿屋～串良間が、また大正12年までに古江～高須間が開通しました。

私鉄から国有化へ

当初の計画通り鹿屋と古江が鉄道で結ばれたものの、やがて昭和に入り、自動車による輸送が行われるようになると乗客や貨物数が伸び悩むようになりました。そこで鉄道を国へ移管して、志布志線などの他の路線と接続し、利便性の向上を図ろうという機運が高まり、昭和10年に国が買収。翌年には串良～志布志間がつながりました。

昭和13年には、軽便鉄道の狭い線路幅から国鉄の線路幅に改修する工事が完成。志布志～古江間は古江線と改称され、いよいよ鹿屋に国鉄の大きな機関車が登場したのです。

大隅線の誕生

戦後になると線路は国分方面に延伸を続け、昭和36年に古江～海潟間が開通。全線開通まで残すところ海潟～国分間となった時に2つの問題が生じます。

1つめは海潟～国分間がトンネルが15か所、橋が178か所という難工事を伴うこと。2つめは国鉄の赤字ローカル線廃止問題が表面化したことです。高度経済成長期の急激な過疎化で、古江線は100円の収入を得るために500円近く営業費用がかかる赤字に陥っており、赤字がさらに増えることが予想される中、開通が不透明な状況に陥りました。

その後、垂水市が6，000人を超える署名運動を行った結果、関係当局に熱意が伝わり、昭和47年に海潟～国分間が開通。志布志～国分までがようやく1つの線路でつながり、それまでの古江線に変わって大隅線と命名されました。明治5年に日本で初めて鉄道が開通（新橋～横浜間）してから、ちょうど100年後のことでした。

大隅線廃止時の路線図

線路幅の改修工事の様子

鹿屋駅前に集結した「国鉄ローカル線存続鹿屋市期成同盟会」のメンバー

大隅線の存続を願って

誕生の喜びも束の間、大隅線は大きな岐路に立たされます。昭和54年1月。国鉄の赤字の大きな原因であるローカル線のあり方を検討していた「運輸政策審議会」が出した報告の中で、廃止してバス路線などに転換すべきとした路線に大隅線が含まれたのです。廃線を免れるには1日に路線1㎞あたり2，000人以上の輸送密度が必要でしたが、自動車の普及などによる鉄道の利用者離れが進んだ結果、大隅線の輸送密度は、昭和54年の時点で既に1，000人程度まで落ち込んでいました。

昭和55年12月には、国鉄の経営改善を促進するため、執るべき特別措置を定めた法律が制定され、いよいよ廃線が現実的なものとして認識されるようになりました。

一方で、赤字路線とはいえ地元の意向を聞かずに進められた廃線の話に、地元の国会議員や県、市、民間団体などが反発。廃止反対運動を展開するため、昭和56年11月、「国鉄ローカル線存続鹿屋市期成同盟会」を発足しました。活動方針として、大隅線の利用者減少に歯止めをかけ、可能な限り乗車実践運動を展開すること、廃止基準の輸送密度2，000人を達成し維持すること、チラシの配布、横断幕、懸垂幕の設置等の取り組みを行うことなどを決定しました。

当時行われた利用促進のユニークなイベントに「カラオケ列車」があります。これは廃線の対象となった大隅線と志布志線の沿線3市6町の婦人会、老人会から約120人が参加して行われたもので、隼人から宮崎県の日南までの往復の列車の中で、カラオケ大会を開催するというものでした。

このほかにも鉄道の旅と下車した駅周辺でのウォーキングを同時に楽しむイベントなど、鉄道を利用した様々な取り組みが企画されましたが、利用者増にはつながらず、昭和62年3月14日、全線開通からわずか15年で、大隅線は惜しまれながらその役目を終えたのです。

利用促進のためのイベント「カラオケ列車」

船間　オミヨさん（89歳）古江町

鉄道とともに生きた40年

戦時中の混乱期から大隅線廃線までの約40年間、鉄道とともに生きた女性が古江町にいらっしゃいます。船間オミヨさん（89歳）は、戦時中は国鉄職員として、戦後は魚を売る行商として鉄道を利用していました。

「私は昭和2年に古江で生まれ、16歳で中国の満州に渡り電話交換手として働いた後、18歳の時に古江に帰ってきました。帰郷後すぐに、経験を買われて志布志駅の電話交換手として働くこととなり、その後実家の近くへの配置転換をお願いして、古江駅での仕事に就きました。

当時は男性がほとんど戦地に行っていたので、古江駅で働く6人のうち5人が女性でした。私は改札の仕事をしながら、車両の連結や線路の切り替え作業などもこなしていました。

そんなある日、古江駅を米軍の空襲が襲います。空き時間に裁縫をしていたところ、一緒に働いていた機関士が『米軍機が来たぞ』と叫びました。その人は、しょっちゅう冗談を言う人だったので、また冗談だと思って知らんぷりをしていたところ、本当に米軍機が襲来し機銃掃射が始まりました。

私は命からがら古江小学校の裏手の防空壕に逃げこみ、なんとか助かりましたが、機関士は太ももを撃たれ、足を引きずりながら、やっとのことで防空壕までたどり着きました。次の瞬間古江駅は爆撃を受け、停車していた車両とともに大破しました。数日後駅に行ってみると、縫いかけの「もんぺ」を銃弾が貫いていました。本当に怖い体験でした。

終戦後まもなく、漁師をしていた夫と結婚。夫は八手網（はちだあみ）という大きな網で漁をしていたので、採れた大量の魚を古江だけでは売りさばくことができず、私が鉄道に乗って高山町（現肝付町）まで行き、行商として魚を売り歩くことになりました。

行商の仕事は大変な力仕事で、魚を金属製の缶に入れ、天秤棒（てんびんぼう）の前後にぶら下げて歩きます。重さは30㎏ほどあり、子どもが小さいうちは、さらに子どもを背中におぶって高山まで行っていました。天秤棒が頭にぶつかって子どもが泣き出すことも多く、魚が売れないときなどは、一緒になって泣いていた思い出があります。

魚を入れる金属製の缶。魚を入れていない状態でもずっしりと重く、当時の苦労は計り知れない

私が行商を始めた昭和20年代は100人以上同業者がいたと思います。みんな顔なじみや得意先のところに売りに行くわけですが、他の人に得意先を奪われないために、朝6時過ぎに出る一番列車に乗車して、高山駅に着くと急いで天秤棒を担ぎ、我先にと走って向かっていました。

廃線間近になると、列車は乗客が減り空席が目立つようになっていました。行商も少なくなり、10人ほどまで減っていました。そして昭和62年には遂に廃線。鉄道が無くなって寂しいという思いと同時に、これからどうやって魚を売ろうかという不安がこみ上げてきました。何度かトラックに乗せてもらって高山まで行ってみましたが、乗り継ぎや荷物の上げ下ろしなど不便なことも多く、廃線後しばらくして行商の仕事はやめてしまいました。

廃線から30年経った今でも、地域で会などがあるときは古江駅跡に集まります。駅の跡を見て思い出すのは、古江がにぎわっていた昔のこと。苦労も多く決して楽しいことばかりではありませんでしたが、駅には私の大切な思い出がたくさん詰まっています。」

写真で辿る大隅線

昭和 35 年頃の高須駅（高須町内会提供）

在りし日の鉄道の写真を見て、当時を知る人は懐かしく感じ、様々な思い出が呼び起こされるのではないでしょうか。また当時を知らない人は、今では見られない光景に、鹿屋の写真ではないような不思議な感覚に陥るかもしれません。

市では、広報誌などに掲載した昭和35年頃からの写真を保管しており、その中には鉄道に関するものも多くあります。しかしそのほとんどは廃線間近の昭和50年代後半から昭和62年にかけて撮られたもので、それ以前のものは数えるほどしかありません。また市の鉄道記念館で保管している、当時の資料の数も限られています。

市では、来年度から市民の皆さんがお持ちの、大隅線に関する写真や資料等をお借りして展示する取り組みを開始します。廃線跡に残る遺構など、風化し消えていくものもある中で、大隅線の記憶を後世に伝えていくには、今ある写真や資料、証言などを記録・保存し、残していくことが必要です。ご家庭に大隅線に関する写真や資料が眠っていませんか。皆さんのご協力をお願いします。

大隅線に関する写真・資料等を募集

◎募集するもの

○写真＝ 20 枚以内

○資料等＝大隅線に関する資料・物品等（大きさや数に制限有り）

◎申込方法＝確認用の印鑑、写真・資料等を市総務課又は市鉄道記念館に直接持参

◎その他＝展示終了後はすべて返却

問 市総務課（３階）

☎ 0994-31-1127

2

3

4

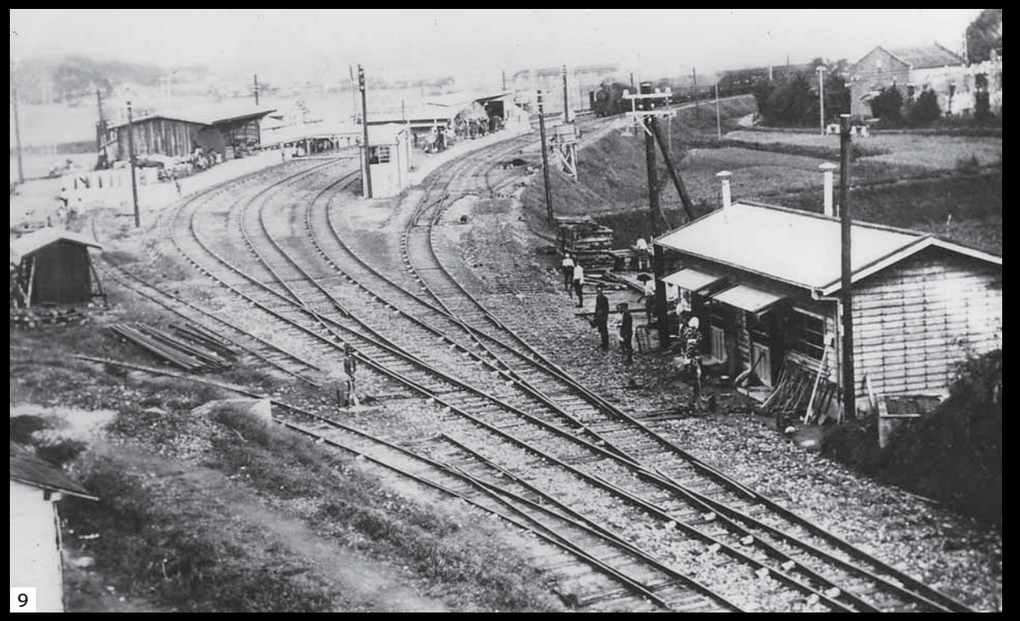
5

6

1

7

8



9

10

11

12

1 下小原鉄橋（昭和 58 年）
2 鹿屋駅（昭和 62 年）
3 永野田駅のホーム（昭和 62 年）
4 古江駅の旅客運賃表（昭和 62 年）
5 下小原駅（昭和 62 年）
6 大隅川西駅のホーム（昭和 62 年）
7 鹿屋～大分県別府間を 6 時間半で結んでいた準急「日南」の運行開始セレモニー（昭和 38 年）
8 大隅高須駅でのセレモニーに集まった子どもたち（昭和 62 年）
9 国鉄への切り替え作業が終わったばかりの鹿屋駅（昭和 13 年）
10 串良駅のホーム（昭和 62 年）
11 吾平駅近くの高台から吾平市街地方面を望む（撮影年不詳）
12 菅原神社前（昭和 62 年）

みんなのイマをパシャ!!

街フォトスクラッチ

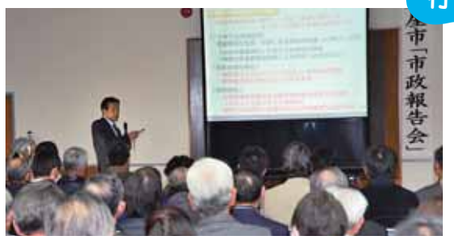
講演会

住民同士で幸せな社会づくりを

2月25日、吾平振興会館で、「美里吾平ふるさと講演会」が開催されました。「地域における住民のつながりと地域振興」をテーマに、落語家の桂竹丸さんと鹿児島大学の金子満准教授による講演や、地域おこし協力隊を交えたパネルディスカッションが行われました。金子准教授は、「住民同士のつながりは、今後もっと必要になる」と熱く訴えていました。

行政

3地区で市政報告会を開催



1月25日に輝北町百引校区公民館、2月10日に串良ふれあいセンター、2月13日に吾平総合支所で、市政報告会が開催されました。

これは、昨年11月に開催された市政報告会を3総合支所管内でも開催してほしいという市民の皆さんからの要請に応えて行われたもの。市の各種政策の取り組み等についての説明に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

「西郷どん」のひ孫が語る

2月5日、高須町公民館で「西郷どんと高須」講演会が開催されました。これは、西郷隆盛と高須とのゆかりを再確認するために行われたもの。

この日は、西郷隆盛のひ孫の西郷隆夫さんを講師に迎え、代々伝わる思想や、維新期の郷中教育などについて講話が行われました。約100人の参加者は、ひ孫ならではの真実味ある話に聞き入っていました。

イベント

険しいコースを駆け抜ける

2月12日、「第2回高隈山ピークハントトレイル」が行われました。トレイルランニングとは、森や山中などの未舗装の道を走るスポーツのことで、参加した67人は、前日までの雪が残る険しい山道を駆け抜けていました。

グリーン・ツーリズム発展に向け

2月16日、市文化会館で「かごしまグリーン・ツーリズムフォーラムin鹿屋市」が開催され、県内の関係者が一堂に会しました。この日は、市内の民泊受け入れ家庭が手作りした料理で参加者をもてなした後、分科会等が行われました。

かのやばら園で物々交換

2月12日、かのやばら園で「モノモノコウカンプロジェクトinKANOYA」が開催されました。これは子ども用の洋服や玩具などを物々交換するイベントで、会場は多くの家族連れでにぎわいました。

スポーツ

日間3位で郷土入り

2月18日から22日までの5日間、「第64回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催されました。郷土入りした大会第4日の21日は、ゴールのリナシティかのや前に、多くの市民が駆け付け、声援を送る中、肝属チームはアンカー森下誠実選手が日間3位でゴールしました。高校生・大学生の活躍が目立った今年の駅伝。来年は更なる活躍が期待できそうです。

社会人トップチームが野球教室

2月4日、鹿屋体育大学野球場で、埼玉県に本拠地を置く社会人野球チーム「Honda硬式野球部」による、小学6年生を対象にした野球教室が開催されました。これは、2月2日～4日、同チームが鹿屋体育大学で合宿したことに伴い行われたもの。また期間中には、市役所を訪問したほか、同大学スポーツパフォーマンス棟での測定分析なども行われました。

教育

社会の仕組みを学ぶ

2月11日、鹿屋女子高校で「キッズビジネスタウン」が行われました。これは、同校内に模擬的に開設された街で、労働・納税・消費など、社会の仕組みを学んでもらうために行われたもの。参加した約250人の子どもたちは、36種類のブースから興味がある仕事を見つけ、実際に働き、その「給料」で買い物をするなど、体験を通して社会の仕組みを学んでいました。

高校生がロボットアプリを開発

2月13日、リナシティかのやで「鹿屋市高校生ロボットアプリ発表会」が開催されました。これは、鹿屋女子高校と鹿屋工業高校の生徒が、それぞれ2グループずつに分かれ、今年度自分たちで製作した、ロボットを動かすプログラムの発表を行ったもの。ロボットが学校や部活動をユーモラスに紹介するというアプリを開発した生徒たちに、多くの拍手が送られました。

社会をつくる「税」を学ぶ

2月9日、花岡小学校で「租税教室」が開催されました。これは、鹿屋肝属法人会青年部会が租税教育の一環として行ったもの。

同会青年部のメンバーが、6年生18人に、税金の大切さや使われ方などについて説明しました。

寄贈

友好の証に桜を寄贈

2月22日、福島県三春町の「㈱さんはる」から同町のシンボル「滝桜」の苗木47本が寄贈され、平和公園に植えられました。これは、同社の鈴木浩彰代表取締役が昨年串良町柳谷町内会を視察したことがきっかけで贈られたものです。

運動会の優勝旗を寄贈

2月23日、笠野原小学校で、運動会用の優勝旗の寄贈式が行われました。これは昭和36年に作られた優勝旗の傷みがひどかったことから、笠之原石油店と笠之原商工同友会が同小PTAに寄贈したものです。

地域

豊作と復興を願って「鉤引き祭」

2月19日、上高隈町の中津神社で「鉤引き祭」が開催されました。鉤引きは、雌鈎と雄鈎の2本の神木を上高隈と下高隈の2地区に分かれて引き合い、勝った地区が豊作になるとされ、今年は、昨年の台風被害からの復興も併せて祈願。通常引き合いは、3回勝負で行われますが、今年は1回目早々に雄鈎が裂けるという約30年ぶりの珍しい出来事が起こり、上高隈地区が勝利しました。

約400年の伝統行事「山宮神社春祭り」

2月19日、串良町細山田の山宮神社で、「山宮神社春祭り」が開催されました。この祭りは、五穀豊穣と家内安全を祈願して行われる約400年の歴史を持つ伝統行事。当日は、堂園、馬掛、生栗須の棒踊り保存会による「正月踊り」と「かぎ引き」が行われた後、木製の牛を引いて田をならす「田打ち」がユーモラスなやりとりとともに奉納され、観客からは大きな笑い声が上がっていました。

新たな戦跡で平和教育を推進

2月15日、野里町で新たに確認された「掩体壕」の見学会が開催されました。「掩体壕」は戦時中に航空機を格納した施設で、確認されたのは高さ約2．5m、長さ約16m、幅約1．7mの、盛り土で作られた「掩体壕」の一部。市平和学習ガイドの小手川清隆さんは、「新たに確認された貴重な戦跡を、今後の平和学習に有効に活用していきたい」と話しました。

基地内の「掩体壕」が解体

2月16日、海上自衛隊鹿屋航空基地内で、新格納庫建設に伴い、2月下旬から解体される「掩体壕」の報道機関向け公開が行われました。これまで補強・移設が検討されてきましたが、傷みが著しく移設には数億円もの予算を要することから、解体されることになったもの。

この日は、コンクリート製の美しい形をした「掩体壕」の最後を見届けようと、多くの報道陣が詰め掛けました。

子育て支援住宅いよいよ着工

1月30日、鹿屋市初のPFI事業「（仮称）桜ヶ丘子育て支援住宅建設工事」の着工に伴う安全祈願祭が行われました。同住宅は民間のノウハウを生かし、スポーツと学問を両立できる学童施設や親子で楽しめるカフェなどが併設される子育て支援住宅（40戸）で、「㈱OKOYASU BASE」が設計・建設から管理・運営まで一括して行います。入居の募集案内等は今年の夏頃から行い、入居開始は平成30年3月の予定です。

商業

大隅自慢の産品を全国に発信

2月8日、鹿屋商工会議所で「第7回まるごと〝おおすみ〟アグリ・フード商談会～おおすみ食のEXPO～」が開催されました。これは、大隅半島の魅力ある豊かな食を全国にPRし、更なる販路拡大を目指して行われたもの。

この日は、鹿屋市を含む大隅地域の42事業者が参加し、県内外28社のバイヤーに自慢の商品を売り込んでいました。

来訪

ボクシングの全国大会に出場

2月22日、1月に行われたボクシングの九州大会で優勝し、全国大会出場を決めた、鹿屋市ボクシング協会の内村源斗さん、松久保拓海さん、荒竹一真さんの3人と、準優勝した大久保航さんが関係者とともに市役所を訪問しました。この日は「鹿屋市スポーツ奨励金交付式」も併せて行われ、対象者を代表して荒竹さんと大久保さんに奨励金が交付されました。

自転車のプロチームが訪問

2月8日、和歌山県に拠点を置く、プロ自転車チームの「キナンサイクリングチーム」の選手、監督らが市役所を訪問しました。

これは、同チームが2月7日～12日に市内で合宿をしたことに伴い行われたものです。

ソフトボール九州大会出場へ

2月9日、ALL肝属中学男子ソフトボールクラブの選手がコーチらとともに市役所を訪問しました。

これは昨年12月の県大会で準優勝し、3月に佐賀市で開催される九州大会への出場を決めたことから行われたものです。

協定

郵便局と連携し安心なまちへ

2月17日、「地域における協力に関する協定」の調印式が市役所で行われました。これは、高齢者・子ども・障がい者の見守り、道路損傷・不法投棄など、市内22の郵便局が確認した情報を市に提供する協定です。

連携して再犯の防止を図る

2月9日、「保護観察に付されている者の就労支援に関する協定」の調印式が市役所で行われました。これは、肝属保護区保護司会と市が連携して、保護観察対象者の就労を支援し、再犯や再非行を防止するため締結されたものです。

連携して就労支援強化を図る

2月17日、「雇用対策に関する協定」の締結式が市役所で行われました。これは、鹿児島労働局と市が連携して、雇用対策に関する施策を総合的かつ効果的に行い、市の雇用・労働環境の改善と就労支援強化のため締結されたものです。

表彰

多額の浄財で社会福祉に貢献

2月16日、㈱倉岡建設への日本赤十字社感謝状伝達式が市役所で行われました。これは長年に渡り多額の寄附を行ったことにより、赤十字事業の発展に多大な貢献が認められたことから表彰されたものです。

住み慣れた地域で 自分らしく

自ら取り組む「介護予防」は今後ますます重要とされる。
写真は、「元気でハッピーながのだ」の健康教室の様子

平成29年4月から、「介護予防・日常生活支援総合事業」（以下、「新しい総合事業」）が開始されます。

この事業は、高齢者等の多様な生活支援のニーズに地域全体で応えていくため、これまでと同様のサービスに加え、多様な担い手による新しいサービスを提供するものです。

今回は、この「新しい総合事業」について紹介します。

問 市高齢福祉課地域包括ケア推進室 ☎0994-31-1175

介護人材不足の深刻化の懸念

今年2月、鹿児島県は、平成28年10月1日現在の年齢別推計人口調査で、県の高齢化率が初めて30％を超えたと発表しました。

鹿屋市は全国平均と同水準の約28％でしたが、今後も高齢化の傾向は変わらず、一人暮らしや認知症の高齢者も増えることが予想されます。

その一方で、地域社会を支える働き盛りの人口は減少傾向にあり、このままでは介護保険料が増加するだけでなく、介護人材が不足することも予想されます。

自分で介護予防に取り組めるように

このような状況の中、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりが求められています。平成28年度、市内の高齢者に実施したアンケート結果では、8割以上の高齢者が現在の住居に住み続けたいと回答しました。住み慣れた地域で高齢者が自立した生活を送るためには、自ら健康づくりや介護予防に取り組む「自助」、そして地域で助け合う「互助」が重要となります。

「新しい総合事業」では、これまでの全国一律の介護サービスを、地域の実情や課題に合わせて、市独自のサービスとして↖提供することが可能となります。これからは、元気な高齢者が支える側に回るなど、高齢者が生きがいを持ち、社会参画できる居場所や仕組みづくりに取り組んでいくことになります。

「新しい総合事業」

市では、「新しい総合事業」の開始に当たり、これまで介護予防サービス（訪問介護・通所介護）を利用している要支援1・2の人やサービス提供事業者に混乱が生じないよう、円滑な移行を第一としています。このため、現在のサービス利用者は、引き続き同様のサービスを受けることができます。

これからの展望

「新しい総合事業」は地域の実情や課題に合わせて、市独自のサービスを提供できることから、既に取り組んでいる地域での見守りやサロン活動の拡大、ボランティア等の多様な担い手による支援の充実など、新たな枠組みのサービス導入にも段階的に努め、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで送ることができる地域包括ケアシステムの構築に取り組もうとしています。

INTERVIEW

「元気でハッピーながのだ」
代表 上拂 辰雄（うえはらい たつお） さん
（永野田町）

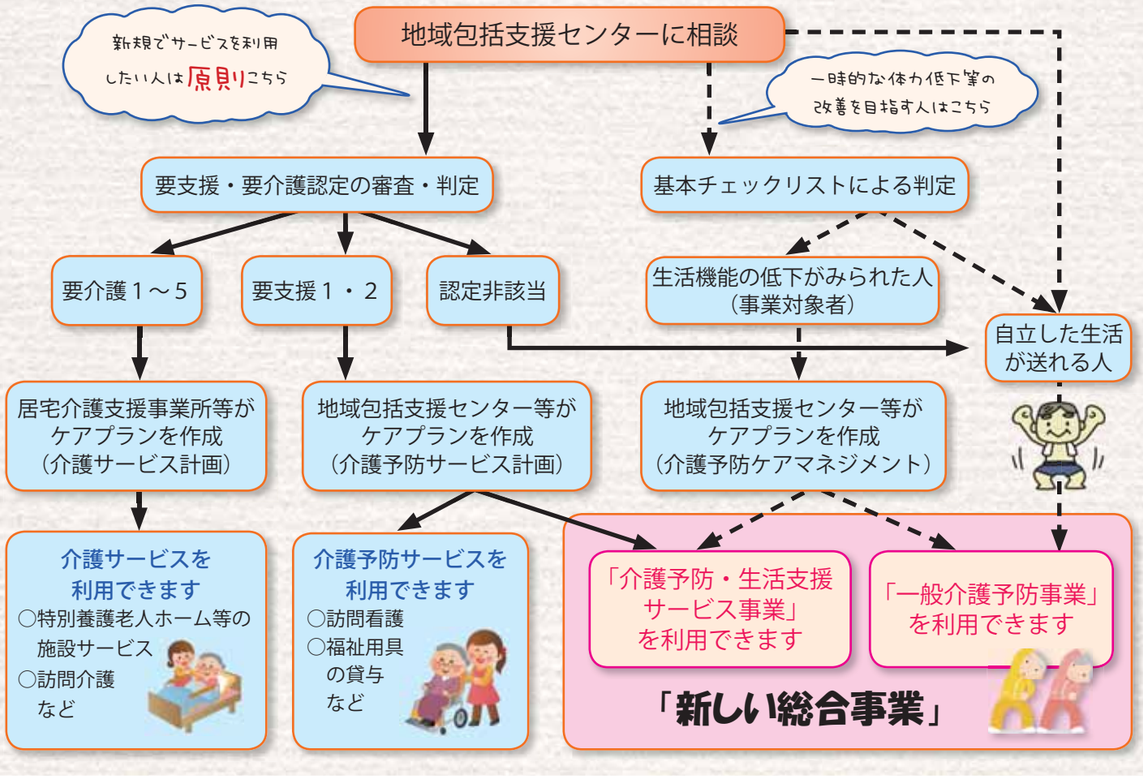
高齢者でも自分たちで健康を守り、周囲を支える側にもなれます！

永野田は高齢者が多い町内会なので、高齢であっても元気であれば、不自由な人を手助けしてあげることが大切だと思います。そのためにも自分たちが健康であることが大事です。

私たちのグループでは、平成19年度から、毎月、健康教室を開催し、メンバーそれぞれが健康管理に心掛けています。自分の健康は自分で守り、介護を予防するという意識が無いと、結局は自分に降りかかってきます。健康寿命を延ばし、病院に入る期間をできるだけ短くしようと呼びかけているのです。

また、健康な内にできることをやろうと、メンバーで情報を共有し、外出が不自由な人の話相手になったり、見守り活動を行ったりもしています。健康づくりがコミュニティづくりにもつながることを改めて実感しています。

4月から始まる「新しい総合事業」の利用の流れ



「新しい総合事業」とは・・・

介護予防・生活支援サービス事業

【対象者】
○要支援１・２の認定を受けた人
○事業対象者と判定された人

当分の間、現在の利用者に対するサービスに変わりはありません。

【内　容】
○ホームヘルパーによる身体介護や生活援助
○シルバー人材センターによる掃除・洗濯等の生活援助
○通所介護事業所での機能訓練や入浴、食事の介護等
○通所介護事業所等での機器を使用した筋力向上トレーニング
※いずれもケアプランに基づいたサービスです。

一般介護予防事業

【対象者】
○65歳以上のすべての人
【内　容】
○高齢者が身近な場所で集える場（サロン）の開催支援
○サロンなど地域活動へのリハビリテーション専門職による支援
○一人暮らしの高齢者等に対する声かけや安否確認等を行う在宅福祉アドバイザーの配置
○高齢者が取り組む健康増進や介護予防、地域貢献等の活動に対するポイント付与
○ぴんぴん元気教室（介護予防を目的とした体操や講話、レクリエーション等の教室）の開催

ぴんぴん元気教室

市職員給与などのお知らせ

鹿屋市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、鹿屋市職員の給与等を公表します。
市職員の給与は、国や他の地方公共団体の給与等を考慮して、市議会で議決され条例で定められています。

問市総務課（３階）　☎0994-31-1127

1 人件費の状況（平成27年度 普通会計決算）

住民基本台帳人口（平成27年度末）	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率（B／A）
103,838人	47,735,638千円	1,608,260千円	6,701,541千円	14.0%

※人件費の主なもの　職員の給料、手当、地方公務員等共済負担金、特別職及び議員の給料、報酬、手当、災害補償費

2 職員給与費の状況（平成27年度）

職員数（A）	給与費				一人当たり給与費（B／A）
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	
787人	3,051,123千円	506,639千円	1,168,582千円	4,726,344千円	6,006千円

※職員手当に退職手当は含まれません。

3 職員の平均年齢及び平均給料月額の状況

（平成28年4月1日現在）

区　分	一般行政職		技能労務職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
国	43.5歳	334,283円	50.2歳	289,141円
類似団体	42.5歳	324,351円	49.7歳	327,399円
鹿屋市	44.0歳	325,642円	48.2歳	339,618円

※「類似団体」とは、全国の市町村を「人口」と「産業構造」を基に類型化したものです。
※「平均給料月額」とは、各職種ごとの職員の基本給の平均です。
※国及び類似団体の数値は、平成 27 年 4 月 1 日の数値です。

4 ラスパイレス指数の状況　（平成28年4月1日現在）

区　分	ラスパイレス指数	試算値
全国市平均	99.1	98.6
県内市平均	98.6	98.0
鹿屋市	97.3	96.7

※「ラスパイレス指数」は、地方公共団体の一般行政職の給料額と国の行政職俸給表（一）の適用職員の俸給額とを、学歴別、経験年齢別にラスパイレス方式により対比させて比較し算出したもので、国を 100 としたものです。
※「試算値」は、国の本府省の事務次官、局長等の指定職俸給表適用職員を含めてラスパイレス比較を行った場合の試算値です。

5 職員手当の状況　（平成28年度支給月数）

① 期末手当・勤勉手当

区　分	期末手当	勤勉手当
鹿屋市	2.60月分	1.70月分
国	2.60月分	1.70月分

※職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり

② 退職手当　（平成28年4月1日現在）

区　分	鹿屋市	
	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	27.405月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置	

③ 特殊勤務手当　（平成27年度実績）

支給実績	8,735千円
平均支給年額	91,947円
手当支給職員の割合	12.1％
手当の種類	12
手当の名称	収納事務従事手当、防疫作業従事手当、有毒薬品等取扱手当、社会福祉事業従事手当、行旅病人取扱手当、保健師等手当、用地交渉手当、し尿処理施設等勤務手当、鳴之尾牧場勤務手当、薬剤散布手当、地籍調査業務従事手当、へい死動物処理従事手当

④ 時間外勤務手当　（平成27年度実績）

支給実績	152,886千円
支給職員一人当たり平均支給年額	382,215円

※①②③④のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当等があります。

6 一般行政職の級別職員数の状況　（平成28年4月1日現在）

区分	標準的職務	職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補、技師補	47人	7.9%
2級	主事、技師	38人	6.4%
3級	主任	196人	33.2%
4級	係長級	156人	26.4%
5級	課長補佐級	103人	17.4%
6級	課長級	40人	6.8%
7級	部長級	11人	1.9%
計		591人	100.0%

※公営企業職、学校教育職、再任用職員等は除く

7 職員の初任給の状況　（平成28年4月1日現在）

区　分		鹿屋市	国
		初任給（２年後）	初任給（２年後）
一　般行政職	大学卒	167,600円（183,300円）	178,200円（190,100円）
	高校卒	146,100円（154,500円）	146,100円（154,500円）

8 特別職の報酬等の状況　（平成28年4月1日現在）

区　分		給料月額等
給　料	市　長	810,000円
	副市長	665,000円
	教育長	617,500円
報　酬	議　長	450,000円
	副議長	396,000円
	議　員	370,000円
期末手当	市長・副市長・教育長	3.25月分（平成28年度支給月数）
	議長・副議長・議員	3.20月分（平成28年度支給月数）
退職手当	市　長	退職時の給料月額×在職月数×0.4
	副市長・教育長	退職時の給料月額×在職月数×0.3

9 部門別職員数の状況　（平成28年4月1日現在）

	職員数		
	平成28年度	平成27年度	増減数
一般行政部門	578人	593人	△15
特別行政部門	139人	138人	1
公営企業等会計部門	79人	80人	△ 1
合　計	796人（837人）	811人（837人）	△15

※職員数は、一般職の職員数です。
※（　）内は、条例定数の合計です。

10 職員の勤務時間等の状況

勤務時間	午前８時30分～午後５時15分
休憩時間	午後０時～午後１時

11 職員の服務の状況

年次有給休暇平均取得日数	8.9日
介　護　休　暇	1人
育　児　休　業	8人

※年次有給休暇は、１年に付き20日付与
※介護休暇及び育児休業の人数は、平成27年度に新たに取得した職員数

12 職員の分限及び懲戒処分の状況

① 分限処分の状況

年　度	免職	降任	降級	休職	合計
平成27年度	0人	0人	0人	8人	8人

② 懲戒処分の状況

年　度	免職	停職	減給	戒告	合計
平成27年度	0人	0人	0人	0人	0人

13 職員の研修の状況（平成27年度）

研修名称	研修内容
階層別研修	新規採用職員研修、新任課長級研修　など
市独自研修	人権同和問題研修、交通安全研修　など
専門研修	自治大学校研修、市町村アカデミー研修　など
派遣研修	鹿児島県派遣研修、他団体等派遣研修　など

14 職員の勤務成績の評定（人事評価）の状況

○職員の人材育成及び組織活性化を目的に職員の勤務状況を把握し、人事管理の基礎として活用する。

対象者	評価項目	評価期間（年2回）
全職員	○業績評価 ○意識・姿勢評価 ○能力評価	上期：4/1 ～ 9/30 下期：10/1 ～ 3/31

15 職員の福祉及び利益の保護の状況

福利厚生の団体名	鹿屋市職員厚生会
福利厚生団体の会員数	741人 ※平成28年4月現在
福利厚生の内容	○定期健康診断（年1回） ○人間ドック助成 ○産業医健康相談（月1回）

KANOYA
ピックアップ インフォメーション
Information

～今回の注目情報はこの３つ～

乳児用紙おむつ助成申請を
助成券の有効期限も確認を
18 ページ

未納の市税等の納付は３月31日（金）まで
期限内の納付をお願いします
21 ページ

エアーメモリアルinかのや訓練飛行
鹿屋航空基地周辺上空で実施
22 ページ

募集・申請

ピックアップ

乳児用の紙おむつ購入に対する助成制度の手続きをお願いします

助成申請が済んでいない人は早めの申請をお願いします

市では、乳児用の紙おむつ購入に使用できる助成券を交付する「かわいい孫への贈り物事業」を、平成28年４月から実施しています。申請が済んでいない人は期間内の申請をお願いします。

◎**対象者**＝市内に住所を有する、1歳未満の乳児

※対象乳児の保護者で、市内に住所を有する人に助成

◎**助成額**＝対象乳児１人に対し上限１２，０００円

◎**助成対象期間**＝助成券交付の日から１年間

※例＝平成28年８月１日に助成券交付を受けた場合、平成29年７月31日（月）まで助成対象

◎**申請方法**＝申請者の身分を証明できる書類、出生届出済証明欄に市長印が押印されている母子手帳、印鑑を持って直接申請

◎**申請期間**＝対象乳児の１歳の誕生日の前日まで

※例＝平成28年11月１日生まれの乳児の場合、平成29年10月31日（火）まで申請可能

助成券の有効期限の確認をお願いします

交付した助成券には有効期限が定めてあり、有効期限を過ぎた助成券は使用できなくなります。有効期限が３月31日（金）までの助成券で未使用のものについては、４月１日（土）以降に、助成対象期間の末日まで有効な助成券と交換しますので、交換手続きをお願いします。

※例＝平成29年２月１日に助成券交付を受けた場合、平成30年１月31日（水）まで有効な助成券と交換

◎**交換方法**＝申請者の身分を証明できる書類、紙おむつ助成券交付印が押印されている母子手帳、印鑑、未使用の助成券を持って、市子育て支援課へ届出

問**市子育て支援課（１階⑰番窓口）**
☎０９９４-３１-１１３４

「第４回かのやバラ色婚活２０１７」の参加者を募集

◎**内容**＝将来結婚を考えている人同士が集い、パートナーを探すイベント

◎**日時**＝５月28日（日）14時～20時

※雨天決行

◎**場所**＝かのやばら園

◎**対象者**

○**男性**＝県内に在住又は勤務する20歳～50歳の独身の人

○**女性**＝20歳～50歳の独身の人

※男女とも学生を除く

◎**定員**＝各50人

※申込多数の場合は抽選

◎**参加料**

○**男性**＝３，０００円

○**女性**＝２，０００円

◎**申込方法**＝氏名・性別・生年月日・年齢・住所・携帯電話番号・メールアドレス・参加動機・職業・勤務先の市町村名を記入のうえＦＡＸ又は専用ホームページ（http://www.dsh.link/balakon）から申込

◎**申込期間**＝４月１日（土）～５月８日（月）

問**鹿屋肝属法人会青年部会**
☎０９９４-４４-９８１１
FAX０９９４-４４-７７３８

図書館ボランティアを募集

◎**内容**＝市立図書館の本棚の整理を行うボランティアを募集

◎**活動日時**＝月に１～２回、10時～18時の間で本人が希望する時間

◎**活動期間**＝採用日～平成30年３月31日（土）

◎**対象者**＝18歳以上の市民

◎**定員**＝10人（定員になり次第締切）

◎**応募方法**＝直接又は電話

◎**応募期限**＝４月30日（日）

問**市立図書館**
☎０９９４-４３-９３８０

かのやばら祭り２０１７春「乳がん検診」の受診者を募集

◎**内容**＝「かのやばら祭り２０１７春」でピンクリボン啓発イベントとして行う、乳がん検診の受診者を募集

※問診から検査まで全て女性スタッフが対応

◎**診察項目・受診料**

診察項目	受診料
マンモグラフィ検診	5,700円
超音波検診	5,700円
マンモグラフィ・超音波併用検診	10,400円

※受診料は「かのやばら祭り2017春」期間中有効な入園券を含む

◎**日時**＝４月29日（土）10時～16時

◎**場所**＝かのやばら園

◎**申込方法**＝平日の９時～17時に、次の申込先（検診委託医療機関）に電話

◎**申込先**
社会医療法人相良病院健診事業部
☎０９９-２２４-１８２１

◎**申込期限**＝３月31日（金）

◎**その他**
○天候などの事情により検診が実施できない場合有り
○予約者優先で実施

問**かのやばら祭り実行委員会事務局（市都市政策課公園管理室内・４階）**
☎０９９４-３１-１１５０

「海上自衛隊鹿屋航空基地見学ツアー」の参加者を募集

◎**内容**＝海上自衛隊鹿屋航空基地内の施設、航空機の見学及び概要説明

◎**日程・時間**

日　程	時間
4/ 9（日）	（午前）9:15～11:45 （午後）13:15～15:45
5/14（日）、28（日）	
6/11（日）、25（日）	

※いずれか１回を選択

◎**集合場所**＝海上自衛隊鹿屋航空基地史料館駐車場

◎**対象者**＝日本国籍を有する中学生～26歳までの人
学生～26歳までの同伴も可能
※家族の同伴40人

◎**定員**＝各回40人
※定員を超えた場合は選考

◎**申込方法**＝電話又は見学申請書及び見学者名簿を郵送又はＦＡＸ
※見学申請書及び見学者名簿は海上自衛隊鹿屋航空基地ホームページ（http://www.mod.go.jp/msdf/kanoya/）からダウンロード可能
※電話の場合は平日の７時30分～16時45分の間に申込
※ＦＡＸの場合は平日の８時30分～16時30分の間に送信

◎**申込期限**＝各ツアー実施日の５日前
※必着

問**海上自衛隊鹿屋航空基地第１航空群司令部広報室**
〒８９３-８５１０
鹿屋市西原３-１１-２
☎０９９４-４３-３１１１
内線２２３３・２２３５
FAX０９９４-４２-２６３６

「交通災害共済」に加入しましょう

◎**内容**＝交通事故の被害者を救済するために県市町村総合事務組合が行っている「交通災害共済」への加入者を募集

◎**加入資格**＝４月１日現在で、市内に住民登録又は外国人登録をしている人

◎**共済期間**＝４月１日（土）～平成30年３月31日（土）

※中途加入の場合は、納入日の翌日～平成30年３月31日(土)

◎**共済掛金**＝１人年額５００円
※共済期間の途中で加入した場合も同額

◎**見舞金額**

○**死亡**＝１００万円

○**傷害**＝傷害の程度により見舞金を支払

◎**加入方法**＝市安全安心課に電話連絡し、後日自宅に届く加入申込書（納付書）を指定する金融機関等に持参し共済掛金を納付
※転入者や過去５年間に加入履歴のある世帯には、２月下旬に納付書を送付しているため、電話連絡は不要

問**市安全安心課（３階）**
☎０９９４-３１-１１２４

「平成29年度鹿屋市中小企業合同入社式・研修講座」の参加事業所を募集

◎**内容**＝市内の中小企業に入社した新入社員の門出を祝う合同入社式、マナー等に関する研修講座に参加する事業者を募集

◎**日時**＝４月６日(木)　９時～

◎**場所**＝鹿屋商工会議所２階会議室

◎**受講料**＝無料

◎**申込方法**＝参加者名簿を直接持参

◎**申込期限**＝３月24日（金）

問**鹿屋商工会議所**
☎０９９４-４２-３１３５

お知らせ

町内会に加入しましょう

市では、地域での交流を深め、住みやすい地域づくりを行うために、「町内会」への加入を促進しています。

子どもからお年寄りまで安心して暮らしていくためには、地域に住む皆さんで声を掛け合い、助け合って、励まし合い、支え合っていくことが大切です。

積極的に町内会に加入しましょう。

◎主な活動内容

○情報のある地域づくり
町内の情報を紹介する回覧板や「広報かのや」など、広報物の配布

○災害に強い地域づくり
自主防災組織づくり、町内会独自で防災訓練、消防団への協力・支援などの実施

○安全な地域づくり
防犯灯の設置や維持管理、防犯パトロール等の実施

○きれいで快適な地域づくり
清潔で快適な地域をつくるための集会所、公園等のごみ拾いや清掃などの美化活動、ごみステーションの設置や維持管理

○ふれあいのある地域づくり
お祭り、運動会など、世代を越えた交流ができるよう各種行事の実施

○安心して健やかに暮らせる地域づくり
地域の皆さんで見守り、支え合う、ふれあいサロンや子どもの見守り活動などの実施

◎加入方法＝市民課又は市地域活力推進課に置いてある「町内会加入申込書」を各町内会長に提出

問 市地域活力推進課（3階）
☎0994-31-1147

危険ドラッグ・シンナー等乱用防止強調月間

県では、4月10日（月）までの期間を、「危険ドラッグ・シンナー等乱用防止強調月間」と定めています。危険ドラッグを乱用すると、おう吐やけいれん、意識消失などが起き、死亡に至ることもあります。また精神へも影響を及ぼし、自分の意志で乱用をやめることができなくなる可能性もあります。

好奇心などから、安易に手を出したら絶対にいけません。また、地域などそれぞれの立場で危険ドラッグ等の薬物乱用防止に努めましょう。

問 市保健相談センター
☎0994-41-2110

春の「郷土に学び・育む青少年運動」

春は、卒業・進学・就職など、青少年にとって人生の節目となる貴重な経験をする大切な時期です。県では、4月10日（月）までの期間、春の「郷土に学び・育む青少年運動」を推進しています。

青少年の生活環境が変わるこの時期に、家庭・学校・職場・地域及び関係機関・団体が緊密な連携を図りながら、運動を積極的に展開し浸透させることにより、県民の青少年健全育成に対する理解を深め、次代の鹿児島を担うたくましい青少年を育成することとしています。

青少年の育成は家庭が基本であるという認識のもとに、鹿児島の教育的伝統と風土を生かしながら、それぞれの実情に応じた取り組みを実施しましょう。

また、児童生徒の春休み期間を含むことから、非行防止や各種事故防止についても重点的に取り組みましょう。

問 県青少年男女共同参画課
☎099-286-2557

「労使間のトラブルに関する無料相談会」

職場のトラブルで悩んでいませんか。弁護士や労働組合役員、会社経営者等からなる県労働委員会の委員が相談に応じます。労働者、事業主問わず誰でもお気軽にご相談ください。申し込み不要ですが、予約優先です。また、来庁できない人は電話相談もできます。

◎相談内容＝解雇、雇い止め、配置転換、賃下げ、パワハラなど

◎相談日＝毎月第4火曜日　14時30分～17時

※受付は16時30分まで

◎相談場所＝県労働委員会（県庁15階）

問 県労働委員会事務局
☎099-286-3943

大阪にお出かけの際は「さんふらわあ」をご利用ください

フェリー「さんふらわあ」は、志布志港と大阪南港の間を毎日運航しています。優雅なデラックス個室、家族や友人同士などの旅行に最適な個室、リーズナブルな大部屋など旅のスタイルに合わせて自由に選べる客室や、最安1万円で往復できる「弾丸フェリー」や「ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの旅」などプランも充実しています。

また、1月に大阪南港乗り場が移転し、乗り場と大阪駅間が従来の約60分から約30分に大幅短縮されるなど、ますます利便性が向上しています。

フェリー「さんふらわあ」に乗って、楽しく優雅な船の旅をお楽しみください。

問 県交通政策課
☎099-286-3302

▲車両の差押（タイヤロック）

問 市収納管理課（1階⑬番窓口）
☎0994-31-1155

差押内容	差押件数
給与等	58 件
預貯金	1,987 件
不動産	15 件
その他	252 件
合　計	2,312 件

※1月31日現在

◎平成28年度差押実績

ピックアップ

未納の市税等は3月31日までの納付をお願いします

市税等の未納がある人は、3月31日（金）までに納付をお願いします。

市税等は市の貴重な自主財源として、福祉増進、防犯対策、インフラ整備などに使われるもので、年度内の財源確保が求められます。

税負担の公平性を保つため、市税等の未納が続く場合は、給与、預貯金、不動産などの差押を行うこととなります。

図書利用カードは3年で更新の手続きが必要です

公共図書館の図書利用カードの有効期限は、カードの発行日（更新日）から3年です。有効期限を過ぎている場合は、お持ちの図書利用カードと、現住所が記載された身分を証明できるものを持参のうえ、カードを発行（更新）した図書館窓口で更新の手続きをしてください。

問 市立図書館
☎0994-43-9380

▶図書利用カード

最低賃金が改正されました

鹿児島県の最低賃金が、次のとおり改正されました。最低賃金は、臨時・パート・アルバイトなど県内全ての労働者及び使用者に適用され、使用者は労働者に対し、最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。

なお、特定の産業においては特定最低賃金（産業別最低賃金）が定められています。また、最低賃金には「臨時に支払われる賃金」、「1か月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与など）」、「時間外・休日・深夜労働に対する割増賃金」、「精皆勤手当・通勤手当・家族手当」は算入されません。

最低賃金名称		時間額	効力発生日
地域別	鹿児島県最低賃金	715 円	平成 28 年 10 月　1 日
産業別	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	745 円	平成 29 年　1 月　8 日
	自動車（新車）小売業	780 円	平成 28 年 12 月 21 日
	百貨店・総合スーパー	715 円	平成 28 年 10 月　1 日

問 鹿屋労働基準監督署
☎0994-43-3385

市民族館が開館20年を迎えます

上高限町にある市民族館は、アジア各国の文化的多様性を体験できる施設として、平成9年度に開館し、平成29年度には開館20年を迎えます。

館内では、民族衣装の試着や民族楽器の演奏体験ができるほか、アジア雑貨の展示販売コーナーなどがあります。

開館20年を記念して、4月から平成30年3月までの間、館内販売コーナーで使えるクーポン券を来館者全員にプレゼントします。また、イベント開催時などを除く土・日曜日及び祝日には、抽選で賞品が当たるゲームを行います。

このほか、年間を通じて楽しいイベントを実施する予定です。開館20年を迎える市民族館を、ぜひご利用ください。

◎開館日時＝火曜日～月曜日　9時～17時

※年末年始及び月曜日（祝日の場合は火曜日）は休館

◎入館料＝無料

問 市民族館
☎0994-45-2872

「パークヒルズ鹿屋」でのマイホームづくりをご検討ください

県住宅供給公社では、新生町にあるパークヒルズ鹿屋で宅地を分譲中です。すべての区画が60坪以上の広さで、団地内の道路も広く、自動車の離合や出し入れもしやすいよう設計されています。

また、子育て世帯やシニア世帯、複数区画購入者への割引制度や、地域優良分譲住宅利子補給などの特典もあります。ぜひパークヒルズ鹿屋でのマイホームづくりをご検討ください。

◎分譲地販売区画数＝12区画

◎土地面積＝211.06㎡（63.84坪）～269.34㎡（81.47坪）

◎土地分譲価格＝317万円～411万円

◎最多価格帯＝300万円台（9区画）

※上下水道及びガス管は各宅地に引き込み済み

※区画数、面積、価格等は平成29年3月1日現在

問 県住宅供給公社企画分譲課
☎099-226-7831

ピックアップ

「エアーメモリアルinかのや2017」の訓練飛行を行います

「エアーメモリアルinかのや2017」の訓練飛行を、次の日時に海上自衛隊鹿屋航空基地周辺上空で実施します。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◎日時

日程	時間
4/3（月）、5（水） 6（木）、12（水） 17（月）、19（水） 20（木）、26（水） 28（金）	16:30 ～18:15
4/29（土）	9:00 ～10:30

※天候不良などにより、日時を変更する場合有り

問かのやイベント協議会 ☎0994-42-6690

ボランティア活動保険に加入しましょう

市社会福祉協議会では、ボランティア活動を行う皆さんが安心して活動できるように「ボランティア活動保険」への加入を推進しています。

5月31日（水）までに加入する人に限り、保険料の一部（1人当たり100円）を助成します。加入を希望される人は、ご相談ください。

◎年間掛金
○Aプラン＝350円
○Bプラン＝510円
○天災Aプラン＝500円
○天災Bプラン＝710円

問市社会福祉協議会 ☎0994-44-2277

「燃ゆる感動かごしま国体」のイメージソングができました

2020年に鹿児島県で開催される「燃ゆる感動かごしま国体」のイメージソングが完成しました。

制作者は、県出身のシンガーソングライターの辛島美登里（からしまみどり）さん。タイトルは「ゆめ～KIBAIYANSE（キバイヤンセ）～」。「頑張って」を意味する鹿児島の方言「キバイヤンセ」をふるさとの「おまじない」と表現し、夢に向かって頑張るみんなの背中を後押ししてくれる、元気いっぱいの曲です。

このほか、掛け声の「チェスト（鹿児島の方言）」や、生き生きした子どもたちのコーラスも盛り込まれ、力強い「鹿児島」にぴったりの魅力的な曲に仕上がりました。

このイメージソングは「燃ゆる感動かごしま国体」ホームページ（http://kagoshimakokutai2020.jp/）から試聴できますので、ぜひチェックしてみてください。

問第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会事務局（県国体体準備課内） ☎0995-286-2874

イベント

忍たま乱太郎キャラクターショー「カラクリ八方斎の段」

◎内容＝劇団飛行船の出演による、子どもにも大人にも人気の「忍たま乱太郎」のキャラクターショー
◎日時＝3月25日（土） 10時30分、14時30分～
◎場所＝リナシティかのや3階ホール
◎前売券＝1，000円
※3歳未満の子どもの膝上鑑賞は無料
※当日券は500円増し
◎前売券販売所＝リナシティかのや売店、市文化会館、ホームセンターきたやま、生鮮マーケットかねた

問リナシティかのや芸術文化学習プラザ ☎0994-35-1001

第60回旧鹿屋航空基地特別攻撃隊戦没者追悼式

◎内容＝太平洋戦争で特別攻撃隊として国難に殉じた英霊を慰霊し、平和を祈念する追悼式
◎日時＝4月8日（土） 10時30分～12時
◎場所＝小塚公園慰霊塔前広場（今坂町）
※雨天時は市文化会館

問市福祉政策課（1階⑲番窓口） ☎0994-31-1113

輝北畜産まつり

◎内容＝牛・馬の神として知られ「山王（さんのう）どん」の愛称で親しまれている、日枝（ひえだ）神社での恒例の畜産まつり
※血統書付子牛や特産品等が当たる抽選会、カラオケ、舞踊、歌謡ショー など
◎日時＝4月9日（日） 10時～
◎場所＝日枝神社（輝北町市成）

問かのや市商工会輝北支所 ☎0994-486-1171

鹿屋吹奏楽団「第23回定期演奏会」

◎曲目
○フィンランディア
○英雄の証
○キャラバンの到着 など
◎日時＝4月16日（日） 14時～
◎場所＝市文化会館
◎入場料＝無料

問鹿屋吹奏楽団事務局 ☎0994-43-9417

Health Care

まちの保健室

若いうちからの胃がんリスク検診

ピロリ菌は1980年代に発見された新しい細菌で、胃の強い酸の中でも生きることができる菌です。

ピロリ菌は消化機能が未熟な幼少期に感染し、大人になってからは感染しないと言われています。近年では、30代までの若年層においては感染者が減少していますが、上水道が完備されず、井戸水などを幼少期から飲むことが多かった40代以上の年齢層において、感染率が高い状況にあります。現在の感染の大きな原因は、ピロリ菌に感染している人から子どもに感染する家庭内感染だとされています。

平成26年にWHO（世界保健機関）は、「胃がん患者の約80％の人は、ピロリ菌感染が原因である」と発表しました。ピロリ菌に感染した場合は、感染期間が長いほど、胃がんのリスクが高まります。健康診断などでピロリ菌感染が見つかったら、早期の除菌治療について、医師への相談をお勧めします。

また市では、平成26年度から30代健診を行っていますが、平成29年度からは、これまでの血液検査項目に新たに「ピロリ菌・胃がんリスク検査」を追加実施します。早期のピロリ菌対策とがん検診で、胃がん発生を予防しましょう。

問市保健相談センター ☎0994-41-2110

胃がんリスク検診とは？

2種類の血液検査結果を組み合わせて、将来の胃がん発生の危険度を4段階に判別する検査です。体内のピロリ菌の有無と、胃の荒れ具合の目安となる「血清ペプシノゲン値」の状況により、胃がんの危険度がAからDの4段階に分類されます。

胃がんリスク検診（ABC検診）による分類

	A	B	C	D
ピロリ菌の有無	陰性	陽性	陽性	陰性
血清ペプシノゲン値	陰性	陰性	陽性	陽性
胃がん発生の危険度	非常に低い	中等度	高い	非常に高い

3月・4月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医

鹿屋市医師会　診療時間 8:30～18:00

月日	医療機関	住所	電話（0994）
3月19日	㊥池田病院	下祓川町	43-3434
	㊧こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊦池田病院	下祓川町	43-3434
20日	㊥長﨑内科	笠之原町	43-2195
	㊧やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊦検見崎病院	西原1丁目	43-2991
26日	㊥中原クリニック	横山町	48-2011
	㊧おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊦そえじまクリニック	旭原町	41-6800
4月2日	㊥森田胃腸科内科医院	郷之原町	40-2822
	㊧まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊦村上整形外科医院	今坂町	41-2511
9日	㊥福田病院	寿3丁目	43-4191
	㊧こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊦大隅鹿屋病院	新川町	40-1111
16日	㊥みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	㊧やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊦かのや東病院	笠之原町	42-3111

肝属東部医師会　診療時間 9:00～17:00

月日	医療機関	住所	電話（0994）
3月19日	小浜クリニック	吾平町上名	58-6025
	児玉医院	東串良町川東	63-8522
26日	入佐内科	吾平町麓	58-7006
	山路医院	東串良町池之原	63-2134
4月2日	高山胃腸科・外科	肝付町前田	65-7171
	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
9日	春陽会中央病院	肝付町新富	65-1170
	新中須医院	東串良町池之原	63-2010
16日	山内クリニック	肝付町前田	65-8181
	花田整形外科・リウマチ科医院	串良町有里	63-1379

鹿屋市歯科医師会　診療時間 9:00～15:00

月日	医療機関	住所	電話（0994）
3月19日	ひらおか歯科	新川町	41-3060
20日	ひらたデンタルクリニック	札元1丁目	45-4929
26日	水口歯科医院	寿2丁目	43-4635
4月2日	吉留歯科医院	旭原町	42-3708
9日	あおぞら歯科	西原1丁目	36-5688
16日	すみの歯科医院	寿3丁目	42-2959

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。
※休日救急当番医の診療は、急病に対する処置ですので、翌日はかかりつけの医師などの診療を受けてください。
原則として、投薬期間は通常1日分とします。

◎大隅肝属地区消防組合テレホンサービス
☎0994-43-0119

平日／午後5時から夜間救急当番医を案内
※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。
休日／休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

お気に入りの場所見つけました!!

ちょっと困っていることがあるんだけど…

これを取材して!!

誰かに聞いてほしい話があります…

コピー機を探していたところ、「①番窓口に行ってください」と言われました。ところが内容によってできるものできないものがあり、私の分(所得証明書)はできませんでした。以前、コピー機が設置されたとの話を聞いていましたが、結局、無意味だと思います。(N・Jさん・女性)

本庁舎におけるコピー機の設置については、市民サービス拡充の観点から、昨年7月から市役所1階市民課において有料によるコピーサービスを開始し、利用者に喜ばれています。当サービスは、公的機関によるサービスですので、特に個人情報等の取り扱いについては慎重に行っているところです。第三者による個人情報の漏えい等のトラブルを防止するための基準として、多くの個人情報が記載されている「改ざん防止の用紙を使用した証明書」は、現在のところ当サービスの対象外としていますので、ご理解いただきますようお願いします。

初めて県民健康プラザ健康増進センターに行きました。市民健康づくり講座に参加をして、腎臓のことを勉強し、ポル・ド・ブラ、リズム体操、プールでのダンベル体操もしました。何よりお友達ができたことが嬉しかったです。少し勇気を出して参加してみると、世界が広がりますね。(さとみんさん・52歳・女性)

お便りありがとうございます。いろいろな器具を使い、新しい仲間と一緒に、楽しく伸び伸びと身体を動かしている様子が伺えます。初めてのポル・ド・ブラはいかがでしたか?調べてみたところ、バレエとダンスの動きを基本とした運動なんですね。私も参加したいと思いましたが…。まだもう少し勇気が必要なようです。

現在、西原地区では下水工事が行われ、通りがにぎやかです。私の所も工事が終わりましたが、西原地区学習センターやグラウンドがまだつないでいないようなので、まだいいのかなあと思っています。浄化槽の浄化能力が高いので、壊れてからでいいのでしょうか。(市民の声直行便より)

浄化槽がある場合の取り扱いについては、下水道法の規定上、下水道の処理区域となれば下水道へ接続していただく必要があります。お便りがありました西原地区学習センターにつきましては、利用者の皆さんに安全で安心してご利用いただくため、市教育委員会の修繕等年次計画に基づいて、平成30年度頃をめどに下水道に接続する予定としています。グラウンドのある鹿屋運動公園のトイレ等につきましては、今後、本管工事等が予定されていることから、その際に接続する予定です。

65歳から支給される温泉券の割引を、大変有り難く利用させていただいております。ただし、「利用する・しない」に関係なく、アンマ券とセットになっているので、アンマ券を利用しない私としては、その分を温泉券に変更できるよう柔軟な対応を望みます。(N・Yさん・66歳・女性)

本市のはり・きゅう施術料と温泉保養利用料の助成は、必要とする人がそれぞれ異なることから、別々に制度を設けています。はり・きゅう施術料は約3,000円かかるので、その費用の一部として500円券を年間20枚、温泉保養料は約300円かかるので、その費用の一部として100円券を年間16枚発行しています。このように、はり・きゅうと温泉の助成は、助成額が異なり、セットではなく制度上異なるものとなっており、それぞれの希望がある人のみに発行しているところです。また、一部の人に利用が集中せず、必要のある人に広く使って頂けるよう、別々に利用上限を定めているところですので、はり・きゅうの助成分を温泉の助成に使えるようにすることは考えておりません。ご理解いただきますようお願いします。

このほか、掲載できなかったお便りについては、ホームページで順次公開しています。

マチロク ～いつもの街の貴重な記録～

No.16 市営路上駐車場(昭和41年)

この写真が撮影されたのは昭和41年。所得水準の向上によりマイカー時代が到来し始めた頃です。鹿屋市史によると、鹿屋地区の自動車保有台数は、昭和41年末には乗用車641台、貨物自動車187台でしたが、わずか3年後の昭和44年には、それぞれ1,603台、2,503台まで急増。この後さらにモータリゼーションが進み、国鉄大隅線廃止前年の昭和61年には、乗用、貨物合わせて21,188台に達しました。高度成長期の中、自動車が生活の中に入り込んでいった状況が、この満車の市営駐車場の様子で伺い知ることができます。

問市文化財センター　☎0994-31-1167

鹿屋市地域協力隊 かのや活動レポート vol.18

現在、街のにぎわいづくり協議会と一緒に「高校生まちなかビジネスラボ」に取り組んでいます。これは市内の高校生が、鹿屋のまちなか(中心市街地)を知り、まちの方向性に合ったビジネスを考え実践することで、自分とまちの未来を考えるという学びの場です。実践の場として、先月「食と暮らしのマルクト@おおすみ」に出店し、「鹿屋産豚肉のあっさり出汁(だし)茶漬(ちゃづ)け」と「鹿屋産さつまいも(おかずレシピ付)」を販売しました。また3月25日(土)にはKITADA(キタダ) SARUGGA(サルッガ)で、26日(日)にはマルクトで出店しますので、皆さん、ぜひ遊びに来てくださいねー!!

今回の報告者 田尻 ゆう子 隊員

市民の皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています!

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒893-8501 鹿屋市共栄町20-1
市政策推進課
「市民のひろば」係
☎0994-31-1123

No.269

お手数ですが52円切手をお貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

鹿屋市役所　政策推進課
Kanoya 「市民のひろば」係　行

お名前／ふりがな

ペンネーム　※未記入の場合、イニシャルで掲載します

ご住所 □□□-□□□□

電話番号

年齢／性別
歳　男 ・ 女

プレゼント
要 ・ 不要

スポットライト
～地域で頑張る人たち～
No.3

安心して暮らせるように「まち」は自分たちで守る！
横山町安心パトロール隊

横山町安心パトロール隊は、横山町内の有志からなるボランティア組織です。発足のきっかけは、7年前に町内で相次いだ不審火。地元住民の不安を取り除くため、自分たちの地域は自分たちで守ろうと、平成23年7月、地元有志7人が立ち上がり、パトロールが開始されました。現在は21人の隊員で活動を行っています。隊員には70代もいますが、大半が現役世代の40代と、比較的若い隊員が多いのが特徴です。

主な活動は、発足以来続けられている週1回の町内パトロールで、隊員2人組・当番制で行われています。必要に応じて、町内に約80基あるロードミラーの清掃や街灯の交換、防犯看板の設置も大事な活動の一つです。

また、地元住民向けに、心肺蘇生法の講習会や消火・救護訓練等を隊の主催で開催するなど、積極的に行われる隊独自の様々な取り組みは大変珍しく、注目されています。

このような活動が評価され、昨年10月には、「『小さな親切』運動本部」（東京都）から「『小さな親切』実行章」を受章しました。

田上孝一（たのうえこういち）隊長は、こう力強く語ってくれました。「最近は不審火も無く、交通事故も少なくなり、抑止効果が現れてきています。今後も町内会の様々な課題解決に積極的に協力し、地域住民が安全で安心して暮らせるように、活動を頑張っていきたい」

昨年５月に横山町集落センターで開催した消火・救護訓練には、横山町内の子どもから高齢者まで、多くの住民が参加した

「『小さな親切』実行章」の受章理由の一つがロードミラー磨き。左の写真は、受章報告のため市役所を訪問した時のもの

「私たちの活動に地域住民も理解してくれる。隊員は皆、やりがいを感じている」と田上さん

Present

応募〆切　4／10㈪

当選者の発表は、商品引換券の発送をもって代えさせていただきます。

敏ちゃんかぼちゃアイス４個セット／３名様
株式会社 西ノ原商事
鹿屋市上谷町 13640-5

独自の「有機物循環農法」でつくった、糖度18度の「敏ちゃんかぼちゃ」と、自家製のかぼちゃの花の蜂蜜を材料に、手間を惜しまずにこだわりぬいてつくった「敏ちゃんかぼちゃアイス」４個セットを３名様にプレゼント。

✂キリトリ線

お便り＆メッセージ

ご協力ありがとうございました。

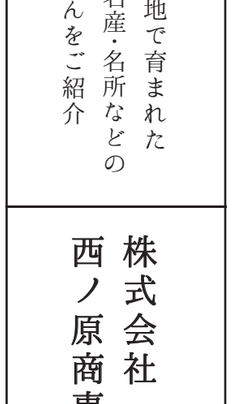
ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。

大人の
社会見学

鹿屋の地で育まれた名品・名産・名所などのよかもんをご紹介

株式会社 西ノ原商事

上谷町13640-5
☎0994-44-7200


ナビゲーター
株式会社 西ノ原商事
代表取締役
西ノ原敏男（にしのはらとしお）さん

「6次産業化・地産地消法」により認定を受け、生産・加工・販売を一手に行う事業者が、近年、市内でも増えてきています。今回はかぼちゃの生産・加工・販売を行う、株式会社西ノ原商事の代表取締役、西ノ原敏男さんにお話を伺いました。

「平成12年ごろから農業に参入し、最初はかぼちゃの生産から始めました。オリジナルの『有機物循環農法』を確立させ、普通のかぼちゃに比べて糖度が1・5倍以上ある、糖度18度の『敏ちゃんかぼちゃ』は、『生で食べても甘い』と評判です。

農産品ですから、大きさや傷など、規格外のかぼちゃも出てきてしまいます。中身は同じ味の規格外品をどうにか活用したいと考えていたところ、アイスクリームに良く合うことが分かり、自分たちで加工を始めました。6次産業化が本格的に進められていた平成25年に国の認定を受けて、平成26年に加工場を整備しました。

加工場では、主にアイスクリームに加工しています。私たちが生産する自慢のかぼちゃと、かぼちゃの花の蜂蜜を加えてつくった『敏ちゃんかぼちゃアイス』は、かぼちゃの甘さがはっきりと分かると同時に、しつこさが後に残らない、さっぱりした味が特徴です。このほか、かぼちゃペーストやカットかぼちゃなどに加工しています。

販売では、地元の商談会への出品のほか、関東・関西はもとより、海外での商談にも独自に取り組んでいます。ただ、むやみに販路を拡大すると、高品質の商品を生産・加工できなくなる恐れもあるので、その加減が難しい所です。市内での加工品販売も、あえて加工場に併設した直売所に限定しています。

『自分たちの目が届く範囲で、なるべく手間を惜しまないで、高品質のものを生産・加工・販売する』、このことは、私たちの基本理念として、これからも続けていきたいです。」

Kanoya 広報かのや
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS
3 March 2017
No.269

平成29年3月13日発行　No.269
（通常版13日・お知らせ版28日発行）
発行／鹿屋市　編集／市長公室政策推進課

鹿屋市役所　☎0994-43-2111
吾平総合支所　☎0994-58-7111
輝北総合支所　☎099-486-1111
串良総合支所　☎0994-63-3111

鹿屋市共栄町20番1号
吾平町麓3317番地
輝北町上百引3914番地
串良町岡崎2081番地

家族葬の池田屋
24時間対応
☎0994-44-4440
☎0120-418-844
田崎斎場　鹿屋市田崎町108
バイパス斎場　鹿屋市大浦町14042-8 株式会社 Ligare

畜産・養鶏などの寝床に最適な
のこくず販売
配送有り
お気軽にお問合せください
有限会社 宮地製材
☎(0994)48-2038
鹿屋市田淵町166番地

ヤマハ音楽教室・ヤマハ英語教室
春の体験レッスン受付中
子どもから大人まで 串良センター・鹿屋センターでレッスン実施中!
お申込み・お問合せは…(株)島津 教室係
フリーコール 0120-72-0206
ヤマハ英語教室
串良センター：鹿屋市串良町有里106／鹿屋センター：鹿屋市今坂町10118-10
ヤマハ音楽教室

～敬いの心と感謝の気持ちを大切に～
真心を込めて
もしもの時に備えてお客様とみち葬祭を結ぶ「みらしるべ」会員募集中
(有)みち葬祭 白崎斎場
TEL：0994(42)3536
鹿児島県鹿屋市白崎町17-51
24時間365日対応
安心と信頼の全葬連グループ
全葬連とは経済産業大臣認可の日本で最大の専門業者の団体です。

http://ikedasousai.jp
皆様の「あったらいいな」をかたちにしました!
費用を抑えながらも充実内容のプラン
通夜・葬儀もきっちり行い、必要なサービスもすべて含んだ家族葬のプランをご用意いたしました。
親戚や友人を交えて送る 家族葬
158,000円(税別)より
通夜・葬儀でのお食事や飲み物をはじめ、供花・供物やお返し物の持ち込みも当社では無料です。
ちょうどいい広さの家族葬ホール
ことぶき中央斎場
鹿屋市寿4丁目1-18（マックスバリュ寿店前）
にしはら中央斎場
鹿屋市今坂町12403-9（マックスバリュ西原店前）
●家族葬のご依頼・ご相談は
心を尽くし、心を動かす。
池田葬祭 ikeda sousai
0120-269-556（つむぐ こころ）
鹿屋市王子町3967-3（バイパス沿い）
365日24時間受付!

http://kanoya-pet.com/
たくさんの思い出をありがとう。
ペット葬祭・霊園
夢眠 むーみん
お問い合わせ・ご相談は
☎0994-45-3400
〒893-0132 鹿児島県鹿屋市下高隈町6000-7(きもつき苑手前)
（有）池田大仏堂グループ

掲載広告募集中
●平成29年度 ゴミ分別一覧表
●平成29年度 ごみ・資源物の正しい出し方
平成28年度鹿屋市発行
お気軽にお問合せください。
※鹿屋市広告事業表示基準に適合しない広告は掲載できません。予めご了承ください。
広告枠数は限りがあり申込み順での掲載となります。掲載ができない場合は予めご了承ください。
株式会社 綜合印刷
〒893-0061 鹿児島県鹿屋市上谷町4-6
E-mail:info@kanoyasogo.co.jp
TEL(0994)43-2093 FAX(0994)44-3737
かのや綜合印刷 検索

広告のひろば
㈱綜合印刷
☎0994-43-2093
広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。
広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市政策推進課になります。
お気軽にお問い合わせください。